

事前質問	大型 EPU 用の温度・高度試験設備について、福島ロボットテストフィールドに新設・整備された設備を活用されているとの説明を大変興味深く拝聴した。福島ロボットテストフィールドとの連携について、差し支えない範囲で伺いたい。同フィールドは主に設備の設置場所を提供する役割なのか。それとも、設備仕様の検討、設置・立ち上げ、試験運用、安全管理、データ取得や運用ノウハウの蓄積といった面でも、共同で進められている部分があるのか。また、飯田 S-BIRD との連携についても、福島の場合と役割分担や協力のあり方に違いがあれば、あわせてお聞かせいただきたい。
------	--

➤ **デンソー 川津様 回答**

福島ロボットテストフィールドとの連携について、単なる設備設置場所の提供にとどまらず、実証拠点としての機能を活用した連携を行っている。役割分担としては、試験設備の仕様検討、試験手法の設計は主にデンソー側で主導しており、福島ロボットテストフィールドは、インフラ提供に加えて、設備設置及び運用に関わる検討設計も主導している。

➤ **多摩川精機 桐生様 回答**

小型電動推進システムも同様である。多摩川精機と飯田 S-BIRD の間では、多摩川精機がどのような試験をしたいかというところから始まり、それに基づく試験槽の改修または新しい設備の導入を提案する。具体的には飯田 S-BIRD が検討している。将来的には、空飛ぶクルマの電動推進システムの試験にも活用できるという観点も踏まえている。

➤ **信州大学 柳原様 回答**

今、飯田 S-BIRD と福島ロボットテストフィールドには様々な設備ができている。それ以外にも日本国内に設備はあるが、なかなか連携ができていないというのが実情である。国内の様々な設備を知らしめることができれば、より使いやすくなるだろう。現在、飯田 S-BIRD と福島ロボットテストフィールドは連携協定を結び、連携を進めているが、こうした連携を他の設備運用機関にも広げたいと考えている。